


 食の都
庄内

発行

 庄内総合支庁産業経済部
酒田農業技術普及課

 〒998-0857
酒田市若浜町1-40
TEL0234 (22) 6521
FAX0234 (22) 6522


適期刈取指導 (令和6年9月)

地域一丸で農業振興を!

酒田農業技術普及課 課長補佐 五十嵐 司

新年、明けましておめでとうございます。

令和6年7月25日からの記録的な豪雨は未だ記憶に新しく、地域営農への大きな打撃に留まらず、生活圏を脅かす大災害となりました。

被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、今なお復旧・復興に尽力されている皆様方には深く敬意を表します。

当課では、被災直後から災害の影響を最小限に抑えるため、農作物等の被害把握に努め、技術対策について関係機関、団体と連携し取り組んでまいりました。異常気象は数十年に一度発生する時代から変化しており、常に、気象の変

化を意識した対応が求められています。

急速な担い手の減少や生産コストの上昇が進んでいる中で、多様な担い手の育成・確保、スマート農業技術の普及・拡大による生産性向上や新しい生産技術の開発・普及、栽培品目の選定等による庄内農業の持続可能な産地づくりが急務となっています。

そのため、引き続き、生産者をはじめ、県、市町、JA等の関係機関・団体が連携し、地域全体が一丸となって地域営農を推し進めていく必要があります。

今年は乙巳(きのとみ)の年で「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」意味を持ちます。新たな年が、再生と発展に向かう良い年となりますよう、今年もよろしくお祈りいたします。



令和6年度 普及活動

かち
~人、魅力づくりを
推進します~



作物

青田巡回指導(令和6年6月)

「雪若丸」の高位安定生産に向けて!

作付面積が拡大している「雪若丸」の高品質・良食味米生産のため、生産組織や新規生産者を対象に栽培研修会や青田巡回指導を実施しています。

高温による品質低下が懸念される中、高温に強い「雪若丸」の高位安定生産に向けた技術普及に取り組んでいます。



野菜

「庄内アスパラガス産地強化プロジェクト」現地検討会(令和6年9月)

ハウスアスパラガスの産地拡大を支援!

ハウスアスパラガスの生産量が増加しており、砂丘地や転作田を活用した更なる産地拡大を図るため、関係機関と連携しながら早期成園化技術の実証等を行います。今年度中に栽培マニュアルを作成・配布し、新規栽培者等の早期技術習得を図り、産地強化を目指します。



花き

花芽の着生促進について検討(令和6年10月)

さくら「啓翁桜」における生産性の向上を支援

啓翁桜栽培では花芽を着生させるために「環状剥皮」を行っていますが、枝の折損や枯死等が発生することから、植物成長調整剤を用いた花芽着生技術の検証と普及に取り組んでいます。切り枝収穫前に開催した現地検討会には多くの生産者が集まり、活発な意見交換が行われました。

産地研究室の研究紹介

アルストロメリアの簡易飽差管理の検討

アルストロメリアでは夏季の高温による収量や品質の低下が問題となります。これまでの県の試験から、高温期に簡易ミストを噴霧することで、収量増加や品質向上、高温障害の低減が可能となりました。そこで、当室では、既存の地下水による地中冷却設備を利用した簡易ミスト噴霧を行い、より低コストな技術を検討しています。



アルストロメリア圃場のミスト装置



果樹

現地巡回の様子(令和6年7月)

シャインマスカットの産地育成

水稻育苗ハウス等を利用したシャインマスカット栽培は、出荷可能な生産者が年々増加しています。当課ではJAと連携した講習会の開催に加え、各生産者を巡回することで技術の早期習得による、産地確立を支援しています。



畜産

「メタン発酵消化液」の施用実証(令和6年6月)

持続的な耕畜連携に向けてコントラクターの定着を支援!

活用が期待される「メタン発酵消化液^{*}」の効果的な施用方法に関する実証とWCS用茎葉型稲品種「山形飼糯138号」の収量安定に向けて支援しています。今年「山形飼糯138号」は約90haの作付けが見込まれており、この取組みにより収量増加が期待されています。
*家畜排せつ物を発酵させ、バイオガスを取り出した後の液体で、窒素やカリウム等を含む



経営

庄内デジタル経営塾個別支援(令和6年7月)

若手生産者等の経営管理を支援!

若手生産者等を対象に、「庄内デジタル経営塾」を開講しました。集合研修では、デジタル営農管理ツールを活用した大雨等気象災害の被害状況の記録と活用方法を学びました。今後も若手生産者同士がネットワークを構築し、お互いに学び合える場づくりを支援します。



農村資源活用

視察研修「産直とどはんとおやつ 農hacol」(令和6年11月)

新たな商品開発を応援!~庄内農産加工研究会視察研修~

お客様から選ばれる商品にするためには、市場動向を反映した商品作りが欠かせません。そこで、庄内農産加工研究会では、身近な事例を学ぼうと、県内の加工施設や販売店の視察を行いました。研究会では、共にレベルアップを図る仲間を募集しています。

大雨災害による農作物被害への対応

令和6年7月の大雨により、管内では甚大な農作物被害が発生しました。このため、水稻、果樹(刈屋梨)、えだまめについて、それぞれ豪雨対策支援チーム(構成:庄内・酒田農業技術普及課、産地研究室、水田農業研究所等)を設置し、冠水・浸水程度や被害程度に応じた追跡調査を実施しております。今後、調査結果の解析等を行い、関係機関と共有しながら、大雨被害対応に活用していきます。

やまがた アグリネット
<https://agrin.jp/>

気象センサーと連携し、低温等の警報をメールでお知らせします。

やまがたアグリネット

「もしも」のピンチに
「いつも」の安心を

収入保険

NOSAI山形
庄内支所 収入保険課
TEL:0234-91-1553

受賞おめでとうございます

✳️令和6年度大日本農会農事功績表彰受章

高橋 良彰氏 (遊佐町)

自らの経営発展に留まらず、水田への堆肥散布による土づくりの普及やパプリカの産地育成に貢献されました。また、遊佐町農業委員会会長として遊休農地解消に努め、芋焼酎「耕作くん」を開発するなど、地域農業の活性化における功績が高く評価されました。



✳️令和6年度山形県ベストアグリ賞

農事組合法人 ビーンズ本楯 (酒田市本楯)

大豆と飼料用米の輪作体系を確立し、大豆の良質多収生産と飼料用米の低コスト多収生産に取り組んでいます。農地の集積・集約化を進め、地権者や地域内の別法人と役割分担や連携を図りながら、地域営農を維持する大きな役割を担っています。



構成員と従業員 (前列右端が飯塚代表)

新たに知事から認定された農業士を紹介します



【指導農業士】
さとう はやと
佐藤 勇人 さん
(遊佐町小原田)
水稻、野菜



【青年農業士】
たかはし しょう
高橋 奨 さん
(酒田市新青渡)
水稻

酒田地区農業士会では、指導農業士18名、青年農業士11名の会員が、地域農業の振興と発展を図るため、将来を担う若手農業者指導・育成等の活動を行っています。

農業青年クラブ「酒田アグリ」会員募集中

酒田市、遊佐町の30～40代の生産者12名で活動しています。会員は、水稻、ねぎ、アスパラガス、ミニトマト、さつまいも等を栽培する多様なメンバーです。先進的な農業経営者や法人の視察研修、県内外の農業青年クラブとの交流を実施し、親睦を深めながら栽培技術・経営能力の向上を目指しています。ネットワークを広げるチャンスです。ぜひご入会ください!



指導農業士の施設トマト栽培を視察(令和6年6月)

庄内砂丘メロン 研修大会2025

日時：令和7年2月5日(水) 13:30～15:30
場所：三川町子育て交流施設テオトル
(三川町押切新田)

メロンの高品位生産と所得向上を目指す貴方にソリューションをご提案します。メロン栽培を始めたいと思っている方も是非ご参加ください。

作物班

LINEグループ

米づくり情報 LINEでも受け取れます!

友達登録はこちら



農薬適正使用のポイント

- ☆農薬の登録状況と詳しい使い方を確認します。
- ☆適切な保護具をしっかり着用します。
- ☆近隣の方に散布スケジュールを周知し、飛散防止を徹底します。
- ☆農薬使用履歴を記帳します。
- ☆きちんと後片付けし、安全な場所に保管します。

令和7年度山形県農作物病害虫防除基準・除草剤使用基準・植物成長調整剤使用基準を効率的な防除対策の参考資料としてご利用ください。購入のお問い合わせは、山形県植物防疫協会までお願いします。(TEL:023-687-8700)